学校番号	2004

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　数学Ａ（数研出版）						
副教材等	改訂版　４STEP 数学Ⅰ+Ａ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・問題集用のノートを用意してください。
・授業では小テストや補充プリントなどを取り入れ，日頃の定着度を測りながら進めます。
・日々の学習に対する復習を行い，問題集を使って理解度を確認するようにしてください。
・問題集用のノートは定期考査ごとに提出してもらいます。
・「なぜそうなるのか」，「別の考え方はないか」など疑問を持つ気持ちを大切にして授業に臨んでください。

2　学習の到達目標

（１）図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
（２）図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。
（３）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　場合の数と確率	第１節　場合の数 １．集合の要素の個数 ２．場合の数 ３．順列 ４．円順列・重複順列 ５．組合せ	a:集合や順列組合せに関する用語・記号・公式などを理解し利用することができる。 b:順列・組合せの基本的な考え方を利用し，円順列・重複順列・同じものを含む順列などについて考察することができる。 c: 順列, 円順列, 重複順列などのの違いに興味・関心をもち，様々な問題で応用できる場面を積極的に考察する。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
		第２節　確率 ６．事象と確率 ７．確率の基本性質 ８．独立な試行の確率 ９．反復試行の確率 10．条件付き確率 11．期待値	a: 確率の意味や基本公式を理解し, 和事象や余事象なども活用し確率を求めることができる。 b: 基本的な確率の計算公式を利用し, 反復試行や条件付き確率などの考え方について考察することができる。 c:身近な事柄について, 確率の考え方を活用して考察しようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
後期	第2章　図形の性質	第１節　平面図形 １．三角形の辺の比 ２．三角形の外心，内心，重心 ３．チェバの定理, メネラウスの定理 ４．円に内接する四角形 ５．円と直線 ６．方べきの定理 ７．2 つの円の位置関係 ８．作図	a: 三角形や円などに関する基本性質を理解し, 定理や公式を適切に利用することができる。 b: 既習事項を活用し，図形の性質の証明などについて考察することができる。 c: 定理の証明や作図手順などに興味を示し, 積極的に考察しようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート

		第２節　空間図形 ９．直線と平面 10．多面体	a: 平面や多面体に関する基本性質を理解し，活用することができる。 b:空間における平行・垂直の考え方や図形の位置関係について考察することができる。 c: オイラーの多面体定理などがどんな多面体でも成立するのか関心をもち調べてみようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	 ワークシート レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度